

みんなで一緒に考えよう、科学・社会・未来。

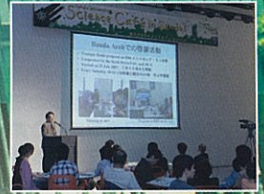
# 東北大学サイエンスカフェ

その場での参加自由!市民の方、中高生、大学生、  
企業の方、メディアの方、親子での参加歓迎!

入場  
無料

東北大学サイエンスカフェ/2007年前期プログラム

- 第21回** 4月20日(金)  
新しい医工学が人体をどこまで変えられるか  
～医学と工学の融合が拓く未来医療～  
井街 宏(東北大学先進医工学研究機構(TUBERO)教授)
- 第22回** 5月18日(金)  
経済と環境の両立する地域社会をつくる  
両角 和夫(東北大学大学院農学研究科教授)
- 第23回** 6月29日(金)  
都市における緑の役割  
～定禅寺通りの街路樹の効果～  
持田 灯(東北大学大学院工学研究科教授)
- 第24回** 7月27日(金)  
「くつつく?」「はなれる?」から始まる磁石の世界  
杉本 諭(東北大学大学院工学研究科教授)
- 第25回** 8月31日(金)  
ロボカップサッカーと人工知能  
～考えるロボットは実現できるのか?～  
篠原 歩(東北大学大学院情報科学研究科教授)
- 第26回** 9月12日(水)  
ヒトの性質を決めるゲノム配列を  
どう見分けるか  
寺前 紀夫(東北大学大学院理学研究科教授)



開催日については、原則各月の最終金曜日を予定しておりますが、都合により変更となる場合があります。

■会場/せんだいメディアテーク1階オープンスクエア/カフェ ■時間/18:00～19:45



お問い合わせ

東北大学広報課

022-217-4977

<http://cafe.tohoku.ac.jp/>

Tohoku University  
Science Cafe  
in  
Sendai



TOHOKU  
UNIVERSITY



# Tohoku University Science Café in Sendai

「サイエンスってむずかしい」、「質問したいことがあるけれども誰に聞いたらよいかわからない」

サイエンスカフェとは、そう思っている人たちと科学者が、コーヒーカップを片手にサイエンスについて気軽に話し合い、サイエンスの楽しさと社会貢献の姿を知ってもらう場です。

せんだいメディアテーク1階のオープンスクエア/カフェを会場に、毎月1回のペースで開催します。

予約なしに、無料で、誰でもその場で自由に参加できるスタイルです。

職場での仕事や学校が終わってから参加できるように、平日の18:00~19:45に開催します。

市民の方、中高生、大学生、企業の方、メディアの方の参加をお待ちしています。

最初の30分は、取り上げた話題に関する最新の研究成果を一人の講演者が分かりやすく紹介します。

次の30分は、ラウンドテーブルごとのトークタイムとして、それぞれのテーブルに東北大学の学生・教員がファシリテーターとして参加し議論します。

最後の40分は、全体的な質疑応答の時間とし、

ラウンドテーブルでの議論で出た質問に講演者が答えます。



## Scientist Profile

### 井街 宏 — いまちこう (東北大学先進医工学研究機構 (TUBERO) 教授)

井街教授は、波動型人工心臓の臨床応用に向けての研究開発を進めており、2004年に東北大学先進医工学研究機構教授に就任し、同機構役員、井街タスクリーダーを兼任しながら、東北大学医工学将来構想検討委員会に関わる医工学研究科設置検討委員会WGのメンバーとして、東北大学に日本の医工学研究の拠点をつくるべく奮闘しておられます。



### 両角 和夫 — もろずみかずお (東北大学大学院農学研究科教授)

両角教授は、資本主義の農業問題を扱う農業経済学が専門です。2002年、環境と経済が両立する社会の構築をめざし、産官学による「いわて銀河系環境ネットワーク」(2004年から特定非営利組織法人)を設立。2003年から科学技術振興機構(JST)の社会技術研究プロジェクトとして、岩手県の3地域で、「分水嶺から沿岸まで」を対象に「いわて発循環型流域経済圏の構築に関する研究」を開始。地域住民、企業等と協働して、地域イノベーションの推進と社会システムの形成に向けた実証研究に取り組んでおられます。



### 持田 灯 —もちだあかし (東北大学大学院工学研究科教授)

持田教授は都市環境工学が専門で、特にビル風やヒートアイランドに関するコンピュータシミュレーションの研究に長年取り組み、2005年に日本建築学会賞を受賞されました。また、昨年夏に日本建築学会から出された「都市のヒートアイランド対策に関する学会提言」取りまとめ役を果たされました。近年、ヒートアイランド対策の観点から都市緑化の研究を進め、仙台の中心市街地における実測等も行っています。



### 杉本 諭 —すぎもとさとし (東北大学大学院工学研究科教授)

杉本教授は磁性材料の研究が専門です。特に永久磁石関係では、希土類磁石を中心としてナノメートルサイズの組織を制御することによって磁気特性を向上させ、世界をリードするような多くの研究成果を挙げています。最近では永久磁石をまったく別な用途である電波吸収体などに応用していく研究なども進めています。これらの研究に対し、2002年には日本金属学会から功績賞、2005年には粉体粉末冶金協会から研究進歩賞を受賞されています。



### 篠原 歩 —しのはらあゆみ (東北大学大学院情報科学研究科教授)

篠原教授は、人工知能の基礎理論、特に機械学習に関する研究や文字列処理を専門とし、遺伝子情報処理への応用システムの開発にも携わってきました。これらの成果により、人工知能学会研究奨励賞、情報処理学会研究賞、論文賞などを受賞しています。ロボカップには2003年の大会から開発チームを結成して参加し、2005年の世界大会では初の決勝トーナメント進出を果たし、2006年の日本大会では準優勝しています。



### 寺前 紀夫 —てらまえのりお (東北大学大学院理学研究科教授)

寺前教授は、分析化学が専門で、蛍光性分子を用いた生体関連分子の検出や物質分離のためのナノ材料開発の分野で成果を挙げています。特に、DNA中に入った微小な空間に蛍光性有機分子を取り込んでDNAに含まれる4種類の塩基を判別する新しい分析法を開発し、科学技術振興機構の戦略的創造研究推進事業「テラーメイド医療を目指したゲノム情報活用基盤技術」で、研究代表者として研究を進めています。

